とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・性別、年齢、人種、出身などで差別しないことを方針としており、雇用、教育、昇進、昇給、福利厚生などの面で、差別がないようにしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・就業規則によりハラスメント禁止が明確化しているとともに、従業員に雇用不安を与えないように取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・36協定を締結し、社内労務管理にて長時間労働とならないための管理を行っている。 ・ノー残業デーを週１回実施。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・現在は外国人労働者を雇用していないが、グローバル化を鑑み、働き方の多様化と差別・人権侵害について意識強化を行っている。また、過去に外国人労働者を雇用していたときも差別、人権侵害はなかった。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・40歳未満の社員に対し健康診断の実施と40歳以上の社員に対しては人間ドックを実施している。健康維持活動として毎朝体操の実施と職場環境を整える為に社内清掃を行っている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・毎朝、オンラインにて朝会を実施しコミュニケーションを積極的にとっている、また、メンタルヘルスケアシステムの導入により（年1回実施）メンタルヘルスの異常防止に努めている、そこで懸念される社員に対しては産業医の面談を行う体制をとっている。			3														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・女性活躍の環境つくりなど、多様な人材を活かし活躍できる環境を整備しております。 ・栃木県　とちぎ女性活躍応援団登録					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	【予定】「健康経営優良法人認定」2023年春取得予定			3					8									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・年２回の計画会議にて個人別に教育内容を検討し技術研修、営業研修などに参加している。また、役職に応じた人材育成研修に参加している。				4				8	9								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・職務や能力、勤務態度、成績において公平な運用を行っている。								8.5		10.2 10.3							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・廃棄物は分別し専門業者に廃棄依頼している。 また、ＩＣＴを活用し社内のペーパーレス化を進めている。											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・クールビズとウォームビズを実施。クールビズ用シャツの支給や服装の自由化を行い省エネルギーに努めている。また、エアコン設備を刷新し省電力化を行っている。							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・テレワーク及びオンライン会議ツールを導入し車移動を減らし温室効果ガスの排出量削減を実施している。							7.2 7.3					12.4	13.3				

とちぎSDG s 推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・当社は有害物質は発生させていない。 ・ダイオキシンなどの排出に配慮し、ごみの分別を徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・当社は生物多様性や生態系に影響させることはない。 ・ペーパレス化や資源の再利用化を進めている。						6.6									15		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・毎月の使用量を把握し節水に努めている。						6.4 6.6											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用													12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	【予定】再生可能エネルギーを使用しているデータセンターの利用							7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用													12.2	13	14	15		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・ゴミのリサイクルのための分別を行っている。 ・再生紙の利用。						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・汚職・収賄の禁止を徹底している。 ・雇用時に教育実施している。															16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・不正競争行為を含む社内規定の整備と社内での浸透を行っている。															16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・特許及び商標の取得管理を行っている、 また、知的財産を侵害しないように指導している。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・個人情報の取扱いについて社員教育を行っている。 ・ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)を認証を取得しており、定期的に 情報セキュリティに関してオンラインにて受講とテストを実施している。															16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用	・紛争鉱物を取扱いなし															16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用						5			8		10		12	13	14	15	16	17

とちぎSDG s 推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・顧客と機密保持契約書を取り交わし、情報の取扱いを明文化している。 ・ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)を認証し、定期的に内部監査を実施している。			3.9									12.4					
29	製品・サービス	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・品質管理向上に向けたチームがあり、品質に対する取り組みや運用をルール化し社員に浸透させている。									9								
30	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	・自社ソリューションのクラウド化により、SDGsを考慮した開発を推進中。 ・クラウドシステム利用してもらうことでハードウェアの廃棄量の減少につなげる。						6						12	13	14	15		
31	製品・サービス	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	・自社ソリューションは効率的な消費期限を管理することにより、廃棄ロスに貢献する。 ・受託案件にて、様々な社会課題を解決するためのシステム開発を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・地域密着を掲げ、地方創生に関する取り組みを行い地域課題の解決に貢献している。				4					9		11	12		14	15		17
33	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・宇都宮市の「宮っ子チャレンジ」社会体験教育、 ・地域イベントの協賛				4							11			14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用									8	9		11	12	13				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	・コンプライアンス遵守を定期的に社員教育を行い周知徹底をしている。																16	
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・経営理念を明文化している。 ・社員に事業発展計画書とともに経営基本方針、企業理念、経営理念、行動指針を配布して周知している。								8	9								17
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・弁護士と顧問契約をしている。																16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用																	16	
39	組織体制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	・ISMS認証を取得し、各規定により個人情報管理を定め管理している。リスク分析、内部監査、マネジメントレビューを実施中																16	
40	組織体制	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用																	16	

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当 環境	社会	経済	期待レベル	具体的な取組（県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用																	16	17
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	・事業継続計画（BCP）を策定し定期的に更新を行っている。 ・事故や災害に備え定期的に訓練、備蓄資材等の点検を実施している。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	・事業の継承を行えるように人材育成を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】

・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）